

令和元年度一般会計決算賛否討論

決算特別委員会

(2・3面)

令和元年度一般会計歳入歳出決算の審査状況から、主なものをお知らせします。

賛成討論

府中市議会市民フォーラム

令和元年度は、緩やかに景気が回復すると言われてきたが、消費税の増税や相次ぐ自然災害、コロナ禍による課題など、不安要素のある年であった。

そのような中、市は高い水準で財政指標を維持しながら、適切な範囲での市債の借入れ等により、新庁舎建設や学校施設等の老朽化対策などに備えた財政運営を行い、更には、市民の暮らしの向上のために、多くの計画の策定や事業を実施した。

市民との協働や将来を見通す持続可能な財政運営が、本市を「みんなが創る 笑顔あふれる住みよいまち」にしていこうとを確信し、本決算に賛成する。

府中市議会市政会

令和元年度は、国の各種政策の効果もあり、緩やかに景気が回復していたが、年度末からは新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況となった。

そのような中、歳入では、市税が微減となったものの、地方特例交付金や収益事業収入等の増額などが影響し、前年度に比べ4・3%の増収となった。

歳出では、小学校において、全ての普通教室に電子黒板や大型提示装置を設置し、更には、体育館に空調設備を設置するなど、教育環境の充実を図った。

反対討論

生活者ネットワーク

令和元年度は、ラグビーワールドカップ2019と東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の関連事業に予算が計上され、中心市街地にぎわい創出事業などが行われた。

そのような中、業務量の増加などにより、現在の職員体制が、厳しいことが明らかとなった。市が、行財政改革推進プランに沿って、職員の削減を進めていくことは、将来的に公共に対する信頼を失うことにつながる。

時代の変化に対応しながら、市民福祉の向上を行うためには、同プランの方針自体が問題であると考えているが、市は、見直すべき方向性を明確にできなかつたため、本決算に反対する。

日本共産党府中市議員

令和元年度は、消費税率の10%への引き上げによって、所得の低い方に対し、更に負担を強いるようになり、富裕層との格差を一層広げることとなった。

このような中、元年度末の基金残高は749億円と過去最高を更新した一方で、公私負担の見直しとして進められたドリル・ワークの購入費等は、2年度までの6年間で1億5000万円の公費削減が見込まれている。

豊かな財源を持ちながら、市民に厳しすぎる行財政改革に加え、市民福祉の増進に逆行する市民サービスの削減が行われているため、市民生活最優先の市政に転換するよう求め、本決算に反対する。

歳入

個人市民税と法人市民税 予算編成時の状況と決算額の評価は

委員 令和元年度決算における個人市民税と法人市民税について、予算編成時はどのような状況であったのか。

また、決算額の評価を聞きたい。

市民税課長補佐 予算編成時の状況について、世界経済の状況が不透明な中、景気が下押しされるリスクはあるものの、国の各種政策により、個人所得の増加傾向が見込まれるほか、景気の回復基調により、企業収益も拡大傾向にあるものと捉えていた。決算額について、個人市民税は、前年度比で約3億1700万円の増収となっており、安定した歳入になったものと評価している。法人市民税については、前年度比で約3億7000万円の減収となったが、50億円台を維持しており、歳入に寄与したものと評価している。

府中ふるさと寄附金 人気のある返礼品は

委員 府中ふるさと寄附金について、令和元年度の寄附金額が都内で2番目に多い約2億3386万6000円となつているが、返礼品として人気のあるものは、どのようなものがあるのか。

また、寄附金額が増加している状況を市は、どのように捉えているのか。

政策課長補佐 元年度決算における人気のある返礼品については、サントリのビール関連の返礼品となっており、寄附金総額の約94%を占めている。寄附金額が増加している状況については、元年度6月の税制改正により、返礼品が地場産品に限定され、ビール等の返礼品を贈呈する自治体が制限されたこと、今後も本市への寄附金額は一定程度増加していくのではないかと考えている。

歳出

ラグビーのまち府中 主な取組内容は

委員 令和元年度におけるラグビーのまち府中の主な取組内容としてラグビーワールドカップ2019の大会を通じたレガシーは、オリリンピック・パラリンピック

等推進担当副主幹 取組内容については、大会が開催された年度であったため、従来の取組に加え、大会に関連する各種イベントや啓発、公認チームキャンプ地に関する事業などを幅広く実施した。

オリリンピック・パラリンピック等推進担当副参事 レガシーについては、本市の知名度の向上に資することができたほか、市民との協働によるつながりが生まれたことなど、大会を機に有形無形のレガシーを創出できたと考えている。

市制施行65周年記念事業

成果と課題は

委員 令和元年10月20日に開催された市制施行65周年記念事業について、成果と課題を聞きたい。

政策課長補佐 成果については、太鼓パレード、府中小唄民謡流し、山車パレードの3部構成からなる市民パレードが約5300人の参加者で行われ、約5万人の観覧があったことから、大変盛況なパレードが実施されたものと認識している。

課題については、先人が築き上げてきた文化や歴史を継承していくことが大変重要であると考えているため、今後一人でも多くの市民に事業

私立幼稚園新型コロナウイルス感染症対策事業

事業内容は

委員 私立幼稚園新型コロナウイルス感染症対策事業について、事業内容を聞きたい。

また、令和元年度決算では、私立5園分が対象となつているが、残りの園については、どのように対応するのか。

保育支援課長補佐 事業内容については、新型コロナウイルス感染症対策を実施するために必要となる衛生用品の購入に対して、1園当たりの上限を50万円として補助を行うものとなっている。

また、残りの私立幼稚園の対応については、2年度予算において、追加で50万円を新たに補助できる仕組みが設けられていることから、申請を受けて補助を行っていく形を考えている。

地域公共交通網形成計画 調査結果から見えてきた課題は

委員 市では、地域公共交通網形成計画の作成に向けて、令和元年度に各種調査などを行った結果から見えてきた課題について聞きたい。

交通企画担当主幹 課題については、鉄道に関するものとして、武蔵野台駅と白糸台駅などの駅の接続性の向上や市内の全ての鉄道駅におけるホームドアの設置の推進が挙げられる。

また、バスに関するものとしては、路線バスとコミュニティバスの役割分担に係る検討やコミュニティバスの収支率の改善、利用者のニーズに対応した利便性の向上といったものが挙げられると考えている。



▲市制施行65周年の府中小唄民謡流し

の趣旨に賛同いただき、参加してもらえよう努めていきたいと考えている。